

令和6年度 家庭科 「 家庭総合 」 シラバス

単位数	2 単位	学科・学年・学級	普通 科 3年 1～8組
教科書	家庭総合 (実教出版)	副教材等	資料+成分表 生活学 Navi (実教出版)

1 学習の到達目標

- 1、自分と他者と交流をしながら学習することで、生活上の事柄を自分で意思決定できるようにします。
2、体験を通して具体的に学習することで、生活を総合的・多面的に捉えられるようにします。

2 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価方法
4	オリエンテーション 第7章 衣生活をつくる	オリエンテーション ①被服の選択から管理まで	・家庭総合を学ぶ意義を理解し、内容について把握する。 ・被服衛生及び管理について科学的に理解し、自立に必要な技能を身につける。	・ワークシート提出
5	第2章 自分らしい生き方と家族	②持続可能な衣生活をつくる ③これからの人生をデザインする	・資源や環境問題の関わり方を考え、持続可能な衣生活を指す。 ・自分はどのような生き方をしたいのか、ライフステージの特徴と課題について理解する。	・ワークシート提出
6	第3章 子どもとかわる	④共に生きる家族 ⑤家族に関する法律 ⑥ライフキャリア ⑦子どもの発達 ⑧子どもの生活	・家族、家庭の役割、法律や福祉について理解を深める。 ・よりよい生活を創造するために、家庭を築くことの重要性について考察する。 ・乳幼児期の心身の発達と生活、遊びと文化、親の役割など子育て支援について理解する。	・グループ学習 ・レポート提出
7		⑨子どもを育む ⑩子どものための社会福祉 ・期末考査	・保育の重要性について考え、子どもの健やかな発達を支える関わり方を考察する。	・期末考査
9	第4章 高齢社会とかわる	①高齢社会に生きる ②高齢者を知る	・高齢期の心身の特徴、高齢者の尊厳と自立生活の支援や介護について理解を深める。	・グループワーク ・調べ学習
10	第5章 社会とかわる	③高齢社会を支えるしくみ ④支えあって生きる ⑤共生社会を生きる	・社会環境の変化や課題、福祉について理解を深める。 ・地域や社会の一員として共に支え合って生活する重要性について考察し、関わり方の工夫を考える。	・発表 ・レポート提出
11	第10章 経済的に自立する	⑥暮らしと経済 ⑦将来のライフプランニング	・生涯を見通した生活における経済の管理や計画の重要性について考察する。	・ワークシート提出
12		⑧ライフスタイルと環境 ・期末考査	・自分を取り巻く社会環境の変化や課題について考える。	・期末考査

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価方法
1	第8章 住生活をつくる	①住まいを計画する ②健康に配慮した快適な室内環境 ③安全な住まい ④持続可能な住まいづくり	・住まいが生活の基盤であることを理解する。 ・住居の基本条件と管理について学び、理想の住まいについて考える。 ・住生活の計画と防災について理解を深め、必要な情報の収集や整理ができるようにする。	・ワークシート提出 ・課題レポート提出

3 評価の観点

関心・意欲・態度	・意欲的に授業に取り組んでいるか。 ・積極的に実験や実習に取り組み、新しい発見をしようとし、またそれを日常の生活に応用しようとしているか。
思考・判断・表現	・地域や自分の生活について、課題をみつけられるか。 ・課題を解決しようと知識を深め、適切に判断し、工夫し、創造する能力を身につけたか。
技 能	・生活を向上させるための基礎的・基本的技能が身につけているか。
知 識 ・ 理 解	・家庭生活の役割や意義を理解し、生活の向上についての基本的な知識を身につけているか。

4 評価の方法

<p>関心・意欲・態度、思考・判断・表現、観察・実験の技能及び知識・理解の4観点から総合的に評価する。</p> <p>課題に対する取り組みやレポートのまとめ方、グループ内の意見を集約して発表する力、学期ごとに行われる定期テストを含めて評価する。</p>
--

5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など）

<ul style="list-style-type: none"> ・高校を卒業すると毎日が家庭科と関わりのある生活が待っています。 ・その為に知識の基礎を、家庭科から学び参考になるような授業を展開しています。 ・受験科目ではないからと思わずにしっかり授業に参加して下さい。提出物もきちんと出すことが大切です。 ・日々の生活の中で、毎日新聞やニュースには目を通し、自分の意見を持つようにして下さい。
--